

「暖かい街」を伝えたい

岩手大学教育学部附属中 三年 三田大雅

本州一寒いと言われるほど気温の低い盛岡市、私がこの街を一言で表すなら、「暖かい街」です。雄大な岩手山と川のつくる美しい景色、宮澤賢治の世界観を纏った空気感、何にも増して盛岡の人々の暖かい人柄、これらのコンビネーションが、つくる盛岡という街は、唯一無二です。このよきな良さをビクトリアの中学生の方々には、実際に歩いて肌で感じて欲しいと思います。

私は盛岡の魅力を見つけ、人に語る事が大好きです。以前、盛岡の魅力を議論し、盛岡の良さを表した商品を作成、プレゼンして模疑でお金を借り販売する、という盛岡商工会議所主催のワークショップに参加したことがあります。その時私は、自分の街の魅力を考え、発信することの楽しさを知りました。

オンライン英会話などを始めて、海外の文化を学ぶ事、海外の方とコミュニケーション

を取る楽しさを感じるようになり、海外の人に盛岡の魅力を伝えることができる国際交流に興味をもつようになりました。今は英検二級の二次試験に向けて勉強しています。また現在盛岡は、ニューヨークタイムズ誌の「二〇二三年に行くべき五カ所」の二位に選ばれたことから、国内外から強い関心を集めています。私は以前にも増して、世界に盛岡の魅力を発信していく重要性を感じています。

このようなことを踏まえて、私はビクトリアの中学生に対して盛岡の魅力を紹介しながら、一緒にツアー形式の街歩きをしたいと思っています。盛岡城の石垣の年代ごとの違い、現在なぜここはこのような街並みになっているかなど、自分の知識から盛岡の良さを紹介できると思っています。

また、ビクトリアの方々と交流する時に大切にしたいことが、「相手を思いやる心」です。

世界には、日本人とは異なる多様な価値観

を持った人達が沢山います。相手の考えに敬意を払った上で心のこもった待遇をすることこそが、国際交流で最も重要なことの一つであり、私のできる「真のおもてなし」だと考えます。

私の中学校の学校教育目標に「よく考え、誠をもつて働く人間」があります。

まずは相手の文化と立場、誇り、アイデンティティをよく理解すること、その上で互いに対等な立場をもつて接しよりとする心こそおもてなしの「心」であり、人として大切にしていきたい「誠」の精神であると思います。

自分の生まれ育った街の魅力を紹介し、そしておもてなしの心をもつて接すること、相互の価値観の尊重につながります。この研修で異なる文化や価値観に触れることで、将来、盛岡に来た海外の方により深い理解を伴ったおもてなしができる人になりたいと思います。